

普及だより

きみつ

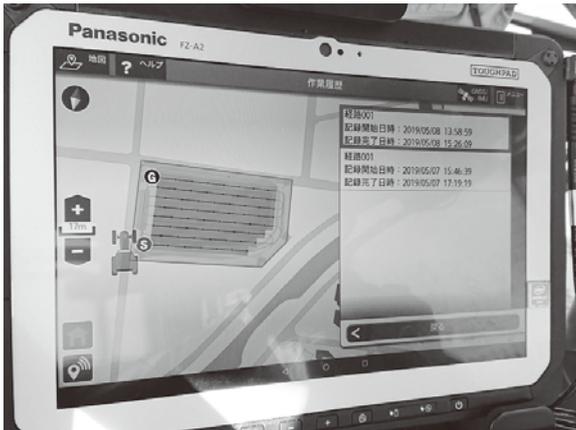
〒292-0833 木更津市貝渕3-13-34 TEL. 0438(23)0299
http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kimitsu/ FAX. 0438(23)6698

発行

千葉県君津農業事務所
君津地域農業改良普及事業協議会

編集

千葉県君津農業事務所
改良普及課



自動運転ではほ場を登録し経路を設定



自動運転中の田植機



自動運転で移植した水田



実演会で試乗体験を報告する(株)切替農園

最先端の農業技術で、
労働力不足解消へ
(オート田植機の実演会を開催)



*今回実演したオートトラクター及び田植機は、直線だけでなく旋回も自動で行います。固定基地局とは、位置情報把握・補正に必要なものです。

(清水)

機械の導入・普及には課題もあります
が、今後も農業事務所では、スマート農
業技術を活用した規模拡大・水稲経営の
安定に向けた支援を行っていきます。

「機械導入のために必要な固
定基地局は行政に設置してほしい。」と
の要望もありました。
「機械の導入・普及には課題も
ありますが、今後も農業事務所
では、スマート農業技術を活用
した規模拡大・水稲経営の安定
に向けた支援を行っていきます。」
と、清水君は報告しました。

農業事務所では5月10日に、袖ヶ浦市
内の水田で、オートトラクターの展示及
びオート田植機の実演会を開催しました。
本実演会の目的は、労働力不足など農業
が抱える課題を最先端技術によって解決
する新たな農業「スマート農業」の導入
の実証です。
オートトラクターでの代かき作業と
オート田植機での田植えの実証に協力い
ただいた(株)切替農園は、「オートトラク
ターでの代かきは作業効率はかなり上が
り、経験の浅い初心者でも熟練者レベル
に持っていける。オート田植機は疲れづ
らく、運転者の1日当たりの作業時間を
増やせるだろう。」と導入に前向きな感
想の一方、「機械導入のために必要な固
定基地局は行政に設置してほしい。」と
の要望もありました。

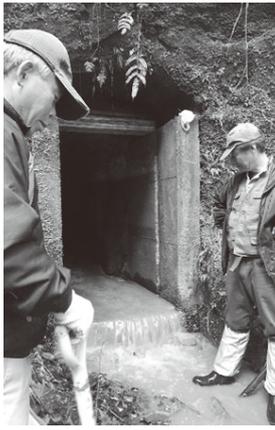
平山営農組合の設立 〜地域のために考える 集落営農〜

【平山地区とは】

木更津駅から君津市上総亀山駅を結ぶ久留里線の平山駅近くの集落です。この地区では昔から平山用水を使って水稻の栽培が行われています。

【二五穴（ニゴアナ）】

当地域（平山・松岡・大戸見・大坂等）は房総丘陵の小櫃川沿いにありますが、水田と川には高低差があり、直接、川から水を引くことができませんでした。江戸時代、当地域の住民は二五穴という用水路・トンネルを作り、亀山湖から水を引く事業を開始しました。平山地区では平山用水として、この二五穴が現在でも残っており、修理点検を行いながら、水田に水をたたえるために保存・利用されています。（他にも大戸用水、蔵玉・折木沢用水・草川原



二五穴トンネル

用水などがあります。）

一部では川回しという湾曲した川を水田にするために山にトンネルを通すという技術も利用していました（現在の濃溝の滝、ハート形のトンネルは川回しの跡です）。

【集落営農とは何か】

農林水産省では「集落を単位として農業生産過程の全部又は一部について共同で取り組む組織」としています。

農業を取り巻く環境は担い手の不足・耕作放棄地の発生・米価の低迷・農作物の鳥獣害といった厳しい状況ですが、個人では守りきれない地元の農地を、集落自らが主体となって、地域で守っていくことを目指すのが集落営農という考え方のひとつです。

【平山営農組合の設立】

地域住民から「この先も平山の農業と農地を守っていききたいから助けてほしい」という要請が君津農業事務所に届き、平成29年から、「平山地区の将来を考える会」を組織し、JAきみつ上総購買センターの協力を得て、君津農業事務所改良普及課、同地域整備課や君津市役所、千葉県園芸協会が参加して勉強会を行ってきました。

ここでは、水田などの農地を担い手に集積するための「農地中間管理事業」や、担い手への農地集積や農業の高付加価値化を推進するために

ほ場整備や農業用排水施設を整備する「基盤整備事業」、水路・農道・ため池等の設備を維持管理するための地域の共同作業を支援する「多面的機能支払交付金」の活用事例等を学びました。また、実際に集落営農を行っている地域への視察も行いました。

その中で、地域住民へのアンケートを行い、水田を預けたい人が多いことから、勉強会に参加していた6名を中心に、平成30年12月、平山地区で営農組合が設立されました。

【今後の活動】

営農組合を立ち上げ後、本年木更津市で開催される第21回米・食味分析鑑定コンクールへの出品を目指すために良食味米生産の取り組みや、水稻以外の収入源として営農組合での野菜栽培を行っています。これからは水田の集積を図るために体制を整え、地域の農地・農業を維持・発展させていくために活動を続けていきます。

さらに、改良普及課が主催する「は

つらつ農業者講座」を通して、野菜生産者の育成等を行いながら、地域農業のためにサポートを行っていきます。

「農地を守りたい」、「後継者がいない」、「農機が壊れてしまって離農を考えている」等、農地や担い手のことでお困りのことがあれば、改良普及課にいつでも相談にお越しください。

（高祖）



平山地区の農地 ~この風景を集落で守っていきたい~

★水稻新品种の紹介★

令和2年から千葉県が育種した水稻の新品種がデビューします。愛称は、「粒(つぶ)すけ」になりました。

【主な特性(コシヒカリと比較して)】

- ・コシヒカリと同じ栽培時期(晩生)
- ・収量が約8%多い
- ・稈長が短く、倒れづらく安定生産ができる

- ・大粒で、炊飯米は白く光沢に優れる
- ・同等の良食味

以上から、新品種はコシヒカリと同様に栽培でき、倒れづらく収量も確保しやすい品種と言えます。

令和2年からのデビューに向けて県内10地域のほ場で試験的に栽培しています。当所管内では、君津市内で試験的な栽培に取り組んでいます。試験ほ場の栽培条件等は次のとおりです。



【播種・育苗について】

4月中旬に、1箱当たり乾籾で150gを播種しました。また、積み重ね方式による加温出芽を行いました。

新品種は、コシヒカリよりもやや草丈が低い傾向でしたが、順調に生育しました。



移植直前の苗の様子
(左：コシヒカリ、右：粒すけ)

【移植と施肥について】

5月8日に坪60株で移植しました。また、施肥は、基肥、追肥体系とし、基肥は、窒素6kg、追肥については生育状況を確認しながら、窒素2kg施用しました。

移植したほ場の土は壤土で、作土層は約18cmでした。



移植1か月後のコシヒカリ栽培ほ場



移植1か月後の粒すけ栽培ほ場

【移植後の管理について】

移植1か月後の状態は上の写真のとおりで、生育は非常に順調でした。



移植1か月後の粒すけ(株拡大)

茎数も十分に確保できていることから、6月下旬には中干しに入り、19日に溝切りを行いました。

5月8日に植えたコシヒカリと同じく7月2日には幼穂形成期、7月27日には出穂期となり、9月上旬には成熟期に入り、収穫になることが予想されます。

倒伏しにくい等、栽培がしやすく、様々な用途に合う品種ですので、来年の栽培を、是非、検討してみてください。

(宇津木)

小規模な農産物加工者も HACCPに沿った衛生管理が求められます!

平成30年6月に公布された食品衛生法等の一部を改正する法律では、原則としてすべての食品等事業者がHACCPに沿った衛生管理に取り組むことが盛り込まれました。制度の本格導入には公布から3年程度の準備期間が設けられています。作業工程の見直しなど、今から準備を始めましょう。

1 HACCPとは?

ハザップ又はハセップと読み、7原則12手順に基づき安全な食品を製造するための衛生管理の方法です。

具体的には、①食品加工場で、工程ごとに、食中毒菌汚染や異物混入等の要因となる箇所を把握し、②食中毒菌汚染や異物混入等を防ぐための管理方法や手順を定め、③その管理方法や手順どおりにできているかを継続的に監視・記録することで、製造する食品の安全を確保しようとする

方法です。

これらを定期的に見直し、改善していくことで、製造する食品の安全性を向上させます。

2 小規模事業者の場合は?

HACCP7原則をそのまま実施することが難しい小規模事業者(令和元年6月現在、一事業所当たり食品の製造及び加工に従事する者の総数50人未満の案で検討中)は、「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」に取り組むこととされています。

漬物、干し芋、米粉等、品目ごとに小規模事業者向けに作成された手引書を利用して、衛生管理に取り組みます。この手引書は、厚生労働省のホームページに掲載されています。

3 HACCPの考え方を取り入れた衛生管理

まず、手引書に従って、作業の工程表を作ります。その中で、重要な管理(洗浄・殺菌・加熱温度など)のポイントを定め、簡単な記録を行い、定期的に見直します。

また、一般衛生管理については、5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)、従業員の体調管理、製造環境の衛生管理(カビ・ほこり・害虫の発生・混入防止)等について記録し、定期的に見直します。

4 まとめ

この取組は、加工場の代表者一人ではできません。みんなで話し合っ取り組むことで成果が期待できます。さあ、みんなでHACCPにチャレンジしてみよう!

HACCPに関するお問い合わせは、君津健康福祉センター食品機動監視課又は生活衛生課(TEL 04381223745)へお願いします。

落花生「千葉P114号」(愛称:Qなつつ)

種子の購入方法・注文時期について

昨年、落花生の新品種「千葉P114号(愛称:Qなつつ)」が一般販売デビューしました。

「Qなつつ」の種子はJAで販売しています。むき実2kgで販売する予定です。「Qなつつ」は1粒播きを推奨しているため、10a当たりの播種量の目安は、むき実4〜5kgです。

注文の時期は、

- 木更津市、君津市、富津市 10月上旬から11月上旬を目途に、お近くのJA経済センターへお問合せください。
- 袖ヶ浦市 袖ヶ浦市は注文が多いため、実行組合ごとに注文を取りまとめます。実行組合長へ9月上旬までに報告してください。それを過ぎた場合は、9月末までにJAきみつ平川経済センターへ直接お問合せください。

令和2年度 千葉県立農業大学校の学生募集 (一般入試)

県農業の担い手を目指す皆さんのお越しをお待ちしています。

▼試験日(出願期間)

- A日程:令和2年1月9日(木) (令和元年12月9日(月)~20日(金))
- B日程:令和2年2月20日(木) (令和2年1月27日(月)~2月7日(金))

▼問合せ:千葉県立農業大学校

〒283-0001 東金市家之子1059 ☎0475-52-5121 <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>



きみつ産の家畜ふん堆肥を使ってみませんか? ~千葉県堆肥利用促進ネットワーク~

- ◇千葉県では、家畜排せつ物の利用の促進を図るため、畜産農家が生産した家畜ふん堆肥の成分や販売先等の情報をHPに公開しています。
- ◇生産者の基本情報のほか、堆肥の成分、サービス情報を掲載しています。土づくりや化成肥料の低減等に、是非、お役立てください。

君津地域では計43件を掲載中

検索▶ <http://www.pref.chiba.lg.jp/chikusan/taihiryou/>